

業界団体 トップに 聞く

実は父さんはネクタイが欲しい

旬には、文化学園染織研究室との協同で学生ネクタイコンテストを実施し、文

日本メンズファッション協会(MFU)主催の「ベスト・フアザーズ賞」に協力し、最もネクタイの似合う人に贈る第8回「ベスト・ネクタイスト」の表彰式を6月に実施するなど積極的に活動している。

——ネクタイの商況は。

今春夏もあまりよくありません。6月の父の日のギフト需要も大きく伸びてはいません。ただ、父の日ギフトについて複数のネット会社の調査によると、父親が欲しいアイテムでネクタイが3〜4位に入っており、決してネクタイ

日本ネクタイ組合連合会会長
東京ネクタイ協同組合理事長

和田匡生氏



は「圏外」ではありません。プレゼントする家族は「クールビズだからネクタイはやめておこう」と思っているも父親は案外ネクタイが欲しいのです。業界として「父の日にはネクタイを」という販促キャンペーンを打ってききましたが、来年からは「実は、父さんはネクタイが欲しいんだよ」といった仕掛けを検討していきたい。

——15年の生産統計は数量ベースで国産品が前年より増加した。国産・輸入を含めたネクタイの流通量は2205万1047本(前年比9.3%減)、金額は139億8514万円(1.9%減)でした。数量ベースでは輸入品が11.3%減、国産品が1.1%減。金額ベースでは輸入品が3.7%減で、国産は4.5%増でした。国産回帰の動きが強まり、市場全体の中で国産品の比重が相対的に高まっています。

——組合の活動は。

今年3月にMFUと第5回の共同セミナーを実施し、約120人が参加しました。ベスト・ネクタイストには三重県知事の鈴木英敏氏とプロレスラーの棚橋弘至氏を選びました。7月6日に八王子織

物工業組合が実施した「マルベリ1・ネクタイデザインコンテスト」(東京・横浜の6大校と1高校から182点の作品が応募)には2人の審査員を初めて派遣しました。

——今後の活動は。

12月に切り替わる取り扱い絵表示に関する講演会を9月に組合主催で開催する予定です。10月には販促キャンペーンを計画しています。10月1日の「ネクタイの日」から10月16日の「ボスデー(ボスの日)」までの期間に「ネクタイウィーク」の流れを作り、売り場づくりを目指します。10月1日に京都ネクタイ協会が京都・今宮神社織姫社で実施する「ネクタイ供養」の催しに、東京ネクタイ協同組合も初めて協賛します。11月上

化学園文化祭で作品の表彰と展示も行います。来春にはMFUと第6回共同セミナーを実施する予定です。

——販促について。

成人式から、バレンタインデー、フレッシュマン、父の日、ネクタイの日、クリスマスまでの販促の流れをつくりたい。インバウンド(訪日外国人)対策は加盟各社がそれぞれ対応し、組合もネクタイの「存在」をアピールしていきます。

■日本ネクタイ組合連合会 東京2地区
組合からなり、MFU主催のイベント活動に協力している。東京ネクタイ協同組合は加盟29社。

アパレルグッズ小売り